

第2回みちのく薪びと祭り In 岩手遠野

(再生可能エネルギー交流会)

平成27年11月21日

NPO法人川崎町の資源をいかす会

法人名	特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 社会教育の推進を図る活動 (2) まちづくりの推進を図る活動 (3) 環境の保全を図る活動 (4) 子どもの健全育成を図る活動 (5) 経済活動の活性化を図る活動 (6) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 (7) 消費者の保護を図る活動 (8) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 川崎町の資源・恵みを活かした維持可能な環境に優しい生活の体験及び普及事業とその支援事業 (2) 川崎町の資源・恵みを活かした地域資源循環型社会の構築に寄与する事業とその支援事業 (3) 釜房ダム水源地域ビジョン、愛称「100年ビジョンかわさき」を推進する事業等 (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
事務局	宮城県柴田郡川崎町大字前川字六方山3-225 電話 & FAX : 0224-87-2270
設立	2007年1月31日

組織（川崎町の資源をいかす会）

会員 180名

賛助会員 19口

部会

川崎仙台薪ストーブの会

雁戸白炭の会

原木きのこの会

ミニ水力発電グループ 等

その他の活動

釜房ダムの清掃活動

水源地探訪(笹谷)

雪上観察会 等

予算(2014年度)

会費等 759,000円

会員寄付(きもち) 465,000

助成金等 1,360,000

販売収入（主として薪） ~1,540,000

川崎・仙台薪ストーブの会(2007~)

(NPO川崎の資源をいかす会)



腹帯の町有林・全伐更新地区の活動推移



川崎・仙台薪ストーブの会・活動運用状況

運営

活動の基本 **安全第一**

月例会 定例会 第二日曜日(~30名)
作業日 B作業 第三土曜、第四日曜、第一、第四水曜日(~10名)
適宜B作業 (安全の為二人以上で入山すること)
連絡: グループメールの活用 (l u m b e r j a c k c l u b)

労働一時間につき 1 “きもち (会の地域通貨単位)”
“きもち”と所定量の薪を交換

問題点

月例会だけの出席者: 必要量の薪を得られない

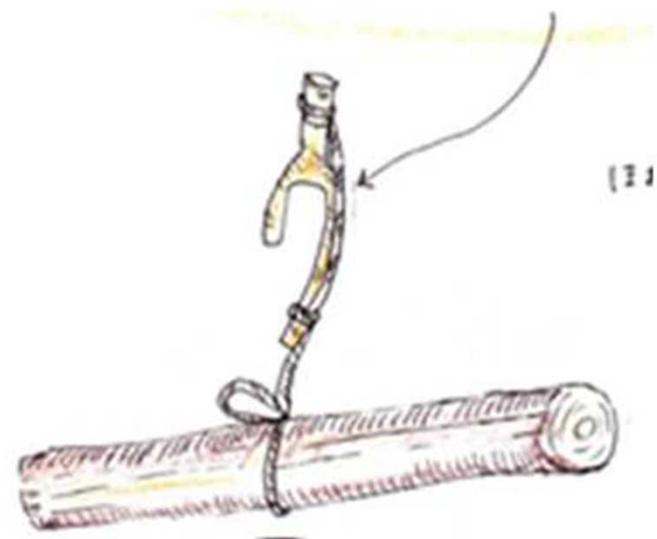
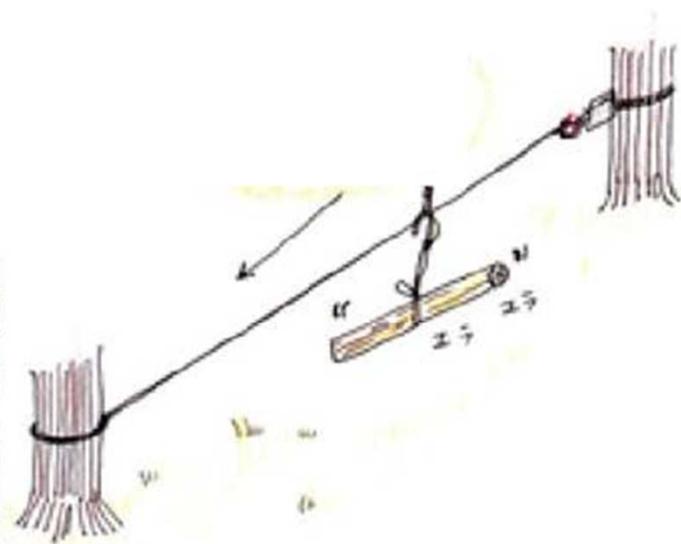
常連: “きもち”が余るが使い道がない
川崎町の資源をいかす会に寄付

作業開始前の作業内容・安全確認ミーティング

休憩小屋(自然木を柱に使用)
駐車場、土場

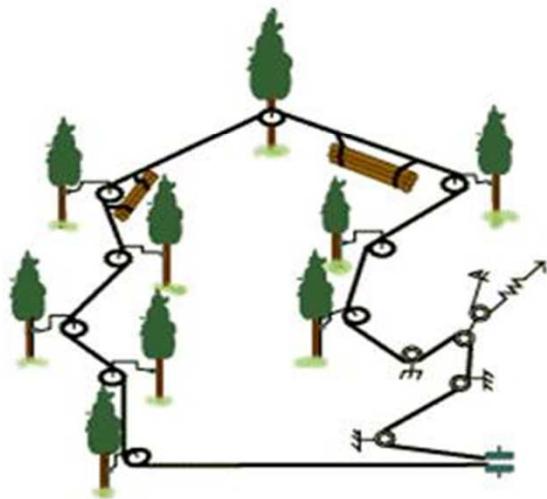


(釣瓶式) やえんによる搬出



ひまわり滑車を活用した搬出

集材機を使ったモノケーブルによる搬出



トタンを活用した、修羅での搬出

シューターを使った搬出

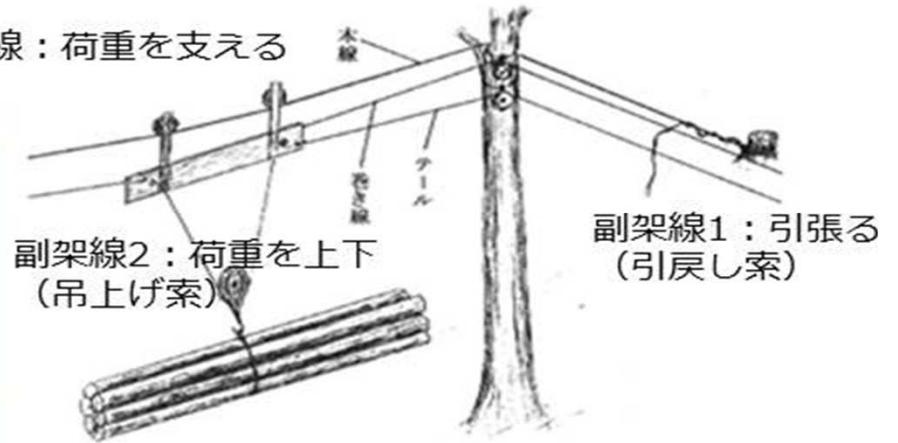


軽架線を活用した搬出

エンドレスタイラー式による
搬出



本線：荷重を支える



副架線2：荷重を上下
(吊上げ索)

副架線1：引張る
(引戻し索)

27年度・伐倒地区への木道・架橋工事



活動を通じて・私の感想

- 会員同志との交流により、活動が楽しくなった
- 体力が着き、健康増進に役立っている
- 伐倒・刈り払い作業等、技術力が向上した
- 全伐による萌芽更新を確認し、里山が再生しているとの実感が出た
- 薪ストーブの生活が、この活動を通じて安定し、地球温暖化防止に、少しでも役立っていると思う
- 地域高齢者の屋敷や田畑林の整備に役立っている
- 地域小・中学生による里山再生の現場として、教材となっている

以上